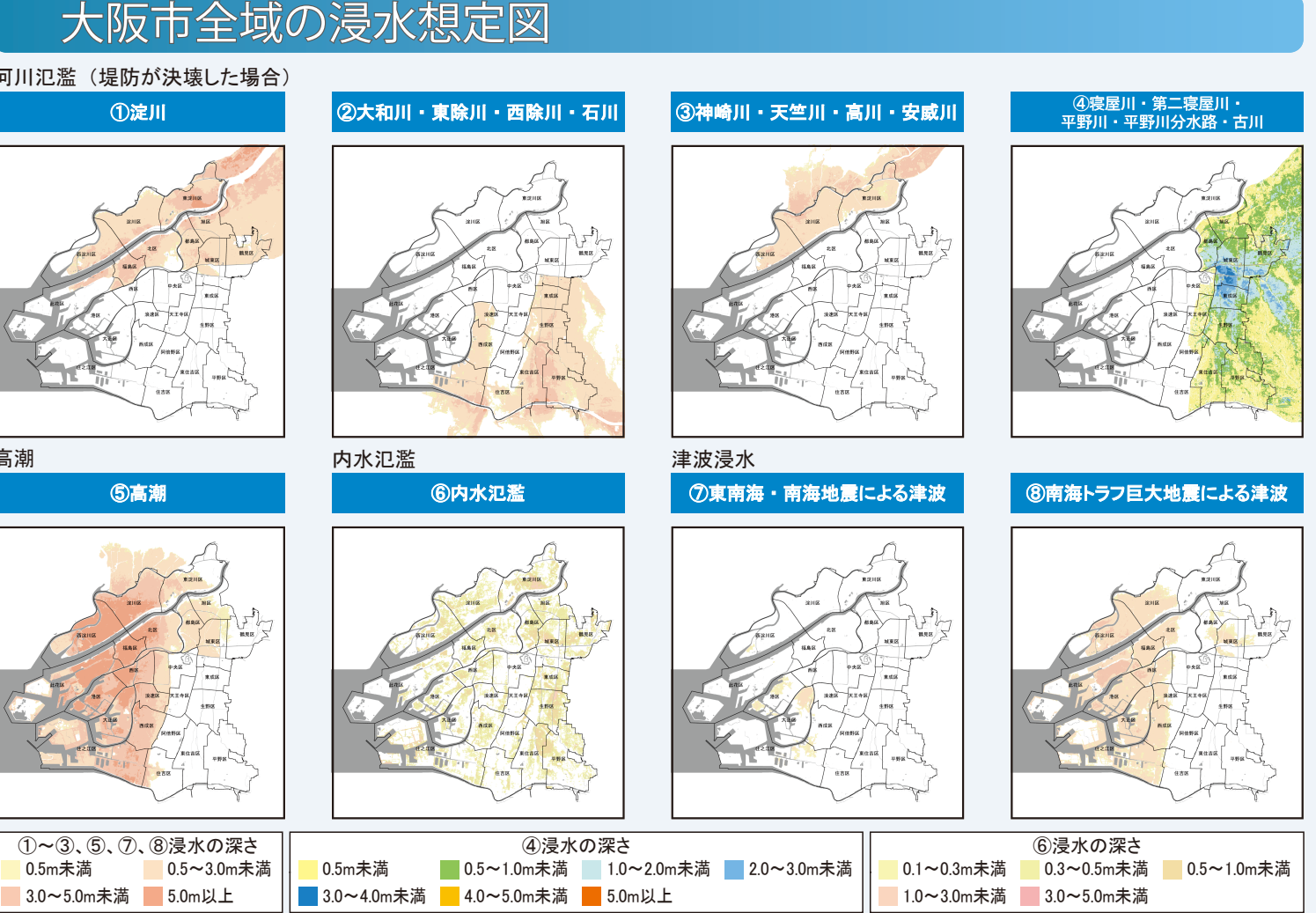




想定している雨や津波の計算条件

災害種別	浸水想定種別	想定条件	公表年月	問い合わせ先	電話番号
河川氾濫	① 淀川	24時間総雨量360mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年程度)	平成29年6月	国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所	072-843-2861
	大和川	12時間総雨量316mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年程度)	平成28年5月	国土交通省近畿地方整備局 大和川河川事務所	072-971-1381
	② 東淀川・西淀川	24時間総雨量904.1mm 1時間最大雨量102.5mm	令和元年11月	大阪府富田林土木事務所	0721-25-1131
	石川	24時間総雨量724mm 1時間最大雨量195.5mm	令和3年1月	大阪府西大坂治水事務所	06-6541-7771
	③ 神崎川	24時間総雨量737mm 1時間最大雨量81.1mm	令和2年1月	大阪府西大坂治水事務所	06-6541-7771
	天竺川	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量142.6mm	令和2年1月	大阪府池田土木事務所	072-752-4111
	④ 高川	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量145.4mm	令和2年1月	大阪府池田土木事務所 大阪府茨木土木事務所	072-752-4111 072-627-1121
	安城川	24時間総雨量776mm 1時間最大雨量189mm	令和2年3月	大阪府茨木土木事務所	072-627-1121
	⑤ 飯豊川・第二家屋川・平野川 平野川分水路・古川	24時間総雨量683mm (発生確率1/1,000年以上)	平成31年3月	大阪府榎川水系改修工事事務所	06-6962-7661
	高潮	⑥ 高潮	中心気圧910hPa(室戸台風級)、最大旋風風速75km(伊勢湾台風級)、 移動速度73km/h、経路は室戸台風を想定	令和2年6月	大阪港湾局危機管理担当
内水氾濫		⑦ 内水氾濫	24時間総雨量549mm 1時間最大雨量147mm	令和3年3月	大阪市建設局下水道部調整課
	津波	⑧ 東南海・南海地震津波	マグニチュード8.6程度の地震が発生し、防潮原(夜間、開放されているもの) などが閉塞らなかった場合に津波による浸水が起きた場合(満潮時を想定)	平成16年3月	大阪港湾局計画課
⑨ 南海トラフ巨大地震津波		マグニチュード9.1程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた 場合(防潮堤の沈下や防潮施設の閉鎖状況を考慮)(満潮時を想定)	平成25年8月	大阪府危機管理室防災企画課	06-6944-6487

このパンフレットの作成者：大阪市危機管理室（TEL 06-6208-7384）
このパンフレットについては、大阪市危機管理室のホームページでもご覧になれます。
<https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/>



令和3年3月

情報伝達について

情報の受け取りかた

防災情報メール 市の防災や災害時に必要な情報を、登録した携帯電話やパソコンメールで配信。
事前登録が必要
上記メールアドレスに空メールを送り、登録を行ってください。
右の二次元コードからもメールアドレスを読み取れます。

緊急速報メール 緊急情報を緊急速報メールに対応した携帯電話に配信します。
受け取れるか 設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話を事前に確認
会社各社にお問い合わせください。

Yahoo! 防災速報アプリ 避難情報や地震に関する情報をプッシュ通知でお知らせします
地域の設定で「大阪市〇〇区」を設定しておく
と、大阪市域に関する情報が受け取れます。

情報の調べかた

- 防災スピーカーの放送が聞き取れなかった場合：防災行政無線テレホンサービス（06-6210-3899） 通話料がかかります。
- 災害時には、NHKテレビ放送の画面で、データ放送ボタンの「dボタン」を押すと、避難情報発表状況や避難所開設情報等が視聴できます。

おおさか防災ネットワーク 避難の情報
URL <http://www.osaka-bousa.net/pref/index.html>

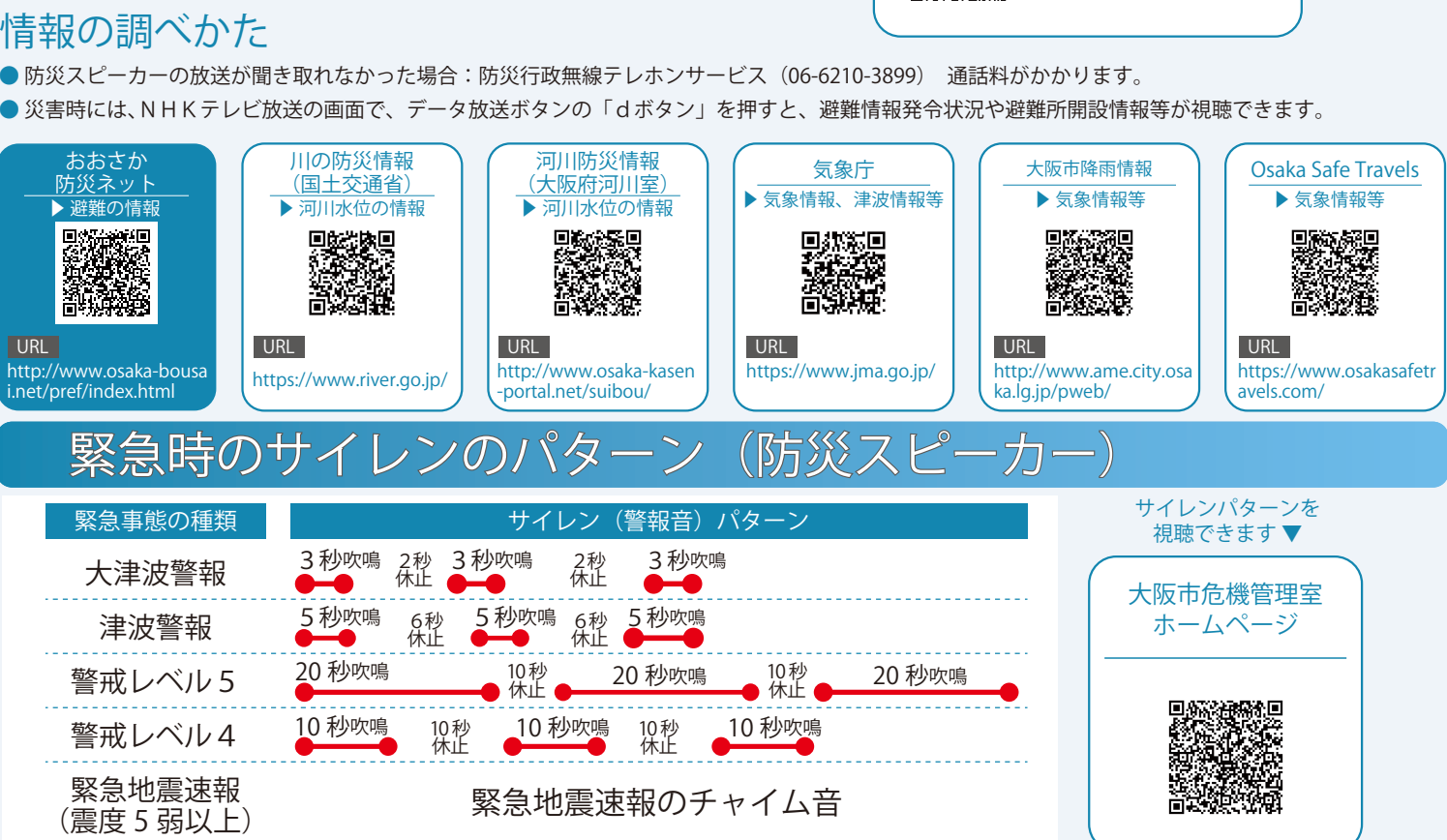
川の防災情報（国土交通省） 河川水位の情報
URL <https://www.river.go.jp/>

河川防災情報（大阪府河川室） 河川水位の情報
URL <http://www.osaka-kasen.portal.net/suibou/>

気象庁 気象情報、津波情報等
URL <https://www.jma.go.jp/>

大阪市降雨情報 気象情報等
URL <http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/>

Osaka Safe Travels 気象情報等
URL <http://www.osakasafetravels.com/>



安否確認用の伝言サービス

災害用伝言ダイヤル171 災害時に伝言の録音や再生ができます。

171に電話すると伝言を残すには（録音方法）
1 自宅や自分・家族（被災地内）の電話番号を押す
2 伝言を残す
伝言を残すには（確認方法）
1 伝言を残す
2 伝言を残す

体験利用が可能な日
毎月1日、15日、（24時間）
1月1日～3日、（24時間）
防災ボランティア週間
（1月15日前9時～21日午後5時）
防災週間
（8月30日前9時～9月5日午後5時）

J-anpi 安否情報まとめて検索
各社の災害用伝言板等に登録された安否情報をまとめて検索することができます。
URL <https://anpi.jp/>

災害用伝言板 災害時インターネット接続が可能な場合に利用できます。
Web 171 (NTT) URL <https://www.web171.jp>
NTT docomo URL <http://dengon.docomo.ne.jp>
ソフトバンク / Y!mobile URL <http://dengon.softbank.ne.jp>
au (KDDI) URL <http://dengon.esweb.ne.jp>

※災害用伝言板は、大きな災害が発生したときに提供が開始されます。サービスの詳細については、NTT及び携帯電話会社各社の説明を参照してください。

マイタイムラインってなに？

「マイタイムライン」とは、大雨や台風などの風水害にそなえて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動、つまり「自分の逃げ方」を考えておくものです。「いつ」「誰が」「何をするのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに行動をとる助けになります。

わが家の避難計画 大雨で河川氾濫が起きそうなとき

1 避難先 避難先を確認してメモしておきましょう。状況に応じた避難先として、避難先①～③のすべてを確認しましょう。

原則： ① 自宅・親戚宅・知人宅・職場など（最寄りの浸水しない安全な場所） ② 最寄りの避難所（最寄りの浸水しない安全な場所） ③ 逃げ遅れたら・・・ ④ その場そのときで命を守る場所へ

2 避難を開始するまでに何をするかを考えましょう。 ② で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。 ③ 避難のタイミングを書き込みましょう。

情報収集 気象情報・避難情報を確認

避難の準備

- 非常持ち出し品・備蓄品を確認
- 必要なものの買い出し
- 家財等の2階等への移動開始
- 家の周りの点検
- 飛ばされそうなものの片付け
- 窓の施錠の確認
- 携帯電話の充電
- 避難所の開設状況の確認

連絡・声かけ

- 近所への声かけ
- 避難の声かけをする
- 一緒に避難する名前
- 連絡先
- 避難の声かけをする
- 一緒に避難する名前
- 連絡先
- 家族と連絡を取り合う（離れている場合）
- 避難の支援者に連絡（自力では避難が困難な場合）

その他

避難完了後 避難後は、家族や大切な人に無事避難したことを伝えましょう

連絡方法 家族の集集合場所

避難情報が解除されるまでは、避難先からの外出や移動は極めて危険です。

記録的な台風が近づいているとき（高潮）

災害時の情報（警戒レベル）

みなさんの命を守る行動

避難はどうする？

浸水が浅いなど、自宅にとどまれる方 無理に外に出ない 風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。

浸水が深いなど、自宅にとどめられない方 早い段階で避難 避難への避難先を確認

避難するときの注意点

浸水より高い場所へ 強風の中での運転や避難は危険

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

津波が発生したとき 避難はどうする？

できるだけ早く、浸水被害のない場所へ 揺れや津波情報をきっかけにできるだけ早く、浸水被害のない、場所へ避難しましょう。

津波が深いなど、自宅にとどめられない方 避難するときの注意点

できるだけ早く、高いところへ 逃げ遅れたら、高い建物、高い場所へ駆け上がる

津波警報が出ていたら、海岸や河川から離れ、避難しよう

津波が深いなど、自宅にとどめられない方 避難するときの注意点

できるだけ早く、高いところへ 逃げ遅れたら、高い建物、高い場所へ駆け上がる

津波警報が出ていたら、海岸や河川から離れ、避難しよう

津波が深いなど、自宅にとどめられない方 避難するときの注意点

できるだけ早く、高いところへ 逃げ遅れたら、高い建物、高い場所へ駆け上がる

津波警報が出ていたら、海岸や河川から離れ、避難しよう

大阪市 水害ハザードマップ

このハザードマップの使い方

1 お住まいの地域は、どのような災害の危険性があるか確認しましょう

2 災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう

3 命を守るために、掲載している情報やマイタイムラインを活用し、日頃からの備えを確認しましょう

避難先・集合場所 災害の種類ごとに避難先・集合場所を確認し、記入しておきましょう。

大雨のとき 洪水 連絡先

台風の時 洪水・高潮 連絡先

津波 連絡先

災害時の連絡先

北区役所	06-6313-9734	道路（野田工務所）	06-6466-2157
北区保健福祉センター	06-6313-9882	（宿日直センター（夜間・休日））	06-6947-7981
警察署	110	電気（関西電力（停電））	0800-777-3081
消防署	119	ガスもれ（大阪ガス）	0120-0-19424
下水道（海老江管路管理センター）	06-6462-3919	電話の故障（NTT）	113
水道（お客さまセンター）	06-6458-1132	ひかり電話・携帯電話からは	0120-444113

大雨で河川氾濫が起きそうなとき

災害時の情報（警戒レベル）

みなさんの命を守る行動

避難するときの注意点

大雨の中や周辺が浸水してから外に出るの危険です 浸水のおそれが高いときには、徒歩から屋内で待機しましょう。

原則歩いて避難 やむをえず車で避難が必要な方は、高齢者等避難など、より早い段階で避難を開始してください。

浸水した道路は通らない 水が濁って、足元が見えにくくなります。マンホールや排水溝などに転落して危険です。

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

津波避難ビルについて

イメージ

大阪市では、河川氾濫や津波から一時的または緊急的に命を守るための施設として津波避難ビルの確保を進めています。いざというときに、最寄りの津波避難ビルを確認しましょう。

津波避難ビル Tsunami Evacuation Bldg. 避難可能時間「24時間」